

夢・目標をもち瞳かがやく平川っ子の育成 ~自分を大切にしよう、仲間を大切にしよう~

大杉だより

No. 7 12月24日号

山口市立平川中学校
山口市黒川1231-1
tel. 924-7700
fax. 924-7706
mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp
HP : <https://fa.fureai-cloud.jp/hira-j/>

ホームページには行事予定
などのお知らせを載せてい
ますので、ぜひ、ご覧くだ
さい。

前向きに...

校長 横沼潤一

令和6年が終わろうとしています。1年間を振り返ってみると、オリンピックやメジャーリーグ等、海外で活躍するアスリートの話題に事欠かなかった年であったように思いますが、私自身のことを言えば、思い通りに行かないことや辛いことが多く、その分周りの人たちに励まされ、支えられていることを改めて強く感じた年だったように思います。

そのような中、私はふと某企業が5年前の元日の新聞に掲載した広告用のポスターのことを思い出しました。

広告用のポスターのモデルには、当時大相撲幕内最小の力士、“炎鵬 晃”さん（現 炎鵬友哉さん）が起用されており、中程には右の文章が書かれていました。上から下へ読んでいくと、前向きな言葉の後に、それらを否定する言葉が続き、ここまで読むと何とも言えないネガティブな印象を受けるこのメッセージ...

ところが、その下に書かれている文を目にしたとき、その思いは一転します。「ここまで読んでくださったあなたへ。文章を下から上へ一行ずつ読んでみてください。逆転劇が始まります。」

同じ言葉でも、口にする順番でこんなにも印象が変わる…。私はこの文章から「今ある状況が仮にマイナスだと思ったとしても、ものの見方や考え方ひとつでプラスにできる」、「たとえ今が劣勢にあっても、“発想や工夫”を駆使して最後まであきらめず挑戦すれば、可能性は必ずある」という思いを強くできるのです。

私たち一人ひとりの毎日は、前向きな“発想や工夫”によってより充実したものとなり、結果として大きな成長にもつながると思います。まもなく新年を迎えるこの時期に、前向きな気持ちで毎日を過ごし、新たな年のスタートを気持ちよく切りたいものです。

※炎鵬 友哉（えんほう ゆうや）さん

石川県出身の大相撲力士。ポスター掲載時は幕内力士（最高位東前頭4枚目）でしたが、その後、けがによる休場が1年以上続き、その間番付（大相撲における力士の順位）をものすごく下げてしまいます。今年7月には入門当時の地位（序の口）まで陥落しましたが、土俵に復帰。その後3場所連続勝ち越して徐々に番付を上げるなど、現在も活躍中です。

大逆転は、起こりうる。

わたしは、その言葉を信じない。

どうせ奇跡なんて起こらない。

それでも人々は無責任に言うだろう。

小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。

誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。

今こそ自分を貫くときだ。

しかし、そんな考え方は馬鹿げている。

勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。

わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。

土俵際、もはや絶体絶命。

第35回 文化祭

「超越～未来へつなげ絆のたすき～」をテーマに、10月26日（土）に開催されました。

各学年の合唱コンクール、総合的な学習の発表、展示など、生徒たちが精一杯に頑張った証を發揮した一日でした。



平川まつり

11月17日（日）にグラウンドを会場として、平川まつりが開催されました。のべ約100人の中学生ボランティアが、準備から片付けまでの仕事に熱心に取り組み、まつりを陰から支えました。



冬休みが始まります

明日から冬休みです。この期間中には、クリスマスや正月などの年中行事があり、何かと気忙しくなる時期です。

生徒へは、規則正しい生活を送り、健康に気を付けて過ごすことや、SNSのトラブルや交通事故などにあわないように、などを指導しております。ご家庭でもぜひ、お子様とゆっくり話をさせていただき、ご指導をよろしくお願いします。

今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

